

生涯スポーツの現状と問題点

平成 17 年度入学
九州大学 文学部 人文学科 人間科学コース
社会学・地域福祉社会学専攻

平成 21 年 1 月提出

—要約—

本論文では生涯スポーツの現状、問題点を把握し、生涯スポーツ社会の実現に向け、どういう試みが必要かを考察している。

第1章では文献から生涯スポーツという概念を分析している。生涯スポーツが誕生した背景には、平均寿命の伸長や生涯学習の到来が世界的に起こったという経緯がある。急激な社会変化の中で、スポーツが社会的にどのように捉えられてきたか、どういう価値を持っていたのか、なぜ現代においてスポーツが生涯にわたって価値のあるものへと変わっていったのかを明らかにしている。

第2章では、福岡市における生涯スポーツを巡る現状を把握するため、福岡市市民局スポーツ部、福岡市スポーツ振興事業団へのインタビューを実施した。生涯スポーツを推進する行政機関が生涯スポーツをどのように捉え、生涯スポーツの発展に力を注いでいるのか。また現状の運営から、生涯スポーツがどの程度普段の生活に浸透しているのか。今後の推進計画から、両機関は生涯スポーツ社会のあるべき姿をどのように考えているのか。これらの観点を中心に両機関の見解を聞いた。

第3章では福岡市市民のスポーツに対する意識を、アンケートとインタビューから考察している。福岡市市民局スポーツ部が行ったアンケートを用いて、生涯スポーツ社会の担い手である市民がスポーツに対してどのような印象、意識を持っているのかを探っている。またアンケート回答から、福岡市におけるスポーツ環境の現状を考察している。またスポーツを行わない人を対象に、スポーツを実施しない理由をインタビュー調査している。スポーツを実施しない人の意見を、福岡市のスポーツ環境に不足しているものを捉え、生涯スポーツ社会実現への参考として挙げている。

第4章では本論文のまとめとして、3章までの内容を総括し、生涯スポーツの現状と課題を挙げている。生涯スポーツの柱として施設、環境、告知と大きく三つの分野に分け、それぞれの現状と課題、そして私が考える今後の対策を述べている。最後に現状と課題から、今後理想的な生涯スポーツ社会を実現するために、学校教育、地域内コミュニティ、行政のそれぞれ担うべき役割を提言し、本論文を締めくくっている。

—目次—

はじめに	1
第1章 生涯スポーツ考察	2
第1節 生涯スポーツ誕生の背景	2
(1) 人生80年時代	
(2) 生涯学習社会の到来	
(3) その他の社会的変化	
第2節 生涯スポーツの歴史	6
(1) 生涯スポーツ論におけるスポーツの捉え方	
(2) 生涯スポーツの定義	
(3) 「みんなのスポーツ」の考え方	
第3節 日本における生涯スポーツの具体的事例	12
第2章 福岡市における生涯スポーツの実態	14
第1節 福岡市市民局スポーツ部インタビュー	14
第2節 福岡市スポーツ振興事業団インタビュー	18
第3章 福岡市民の生涯スポーツに対する意識	26
第1節 福岡市民のスポーツ意識と活動実態（アンケート）	26
(1) アンケート結果	
(2) 考察	
第2節 スポーツを実施しない理由（インタビュー）	30
第4章 まとめ	33
第1節 生涯スポーツの現状と課題	33
第2節 生涯スポーツ社会を作るためには	35
おわりに	38
参考文献・参考資料	39